

地域の催しや明るい話題などが
ありましたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



地域の特色、「野菜の在来種」を探す

在来種は自家用野菜の中に眠っている



▲レストランで色合いが好まれる赤いレタス「モッティーン」を栽培する橘さん

「野菜の在来種は地域のもの、土地の文化です。」こう語るのは、2年前に神戸から淡路に移住し、ワインソムリエから農業に転身した橘真さん(倭文)で現在、淡路固有の野菜の在来種を探しています。「豆や菜っ葉、芋など...。在来種の種は自家用に消費している野菜の中に今も残っている可能性があります。京野菜や大和野菜にもそこから見つかった例があります。」飲食店の経験から、日本ではあまり見かけない野菜を京阪神のレストラン等に出荷している橘さんは、在来種には地域の特色としての価値があるといいます。もし、南あわじ市の在来種が見つければ、その特色(ブランド)を活かして、地域活性化の取り組みもできるのではと期待を込めます。

「種は農家が残そうと思っ

て残っているのではないのです。家庭の漬物用であったり、季節ものとして作っていたり、その土地や気候に合ったもので残っているのです。」

在来種の野菜かどうかの判定は、橘さんの倭文土井農園まで。
倭文土井農園 ☎46・0049

「阿万の風流大踊小踊」が国指定重要文化財へ

異なる踊りが同時に残る



▲小踊 第一番神楽踊 審議会で1月21日、「阿万の風流大踊小踊」を国の重要無形民俗文化財に指定する答申が出されました。昭和51年に指定された「淡路人形浄瑠璃」以来、2

件目となります。阿万上町の亀岡八幡神社に伝わるこの芸能は、踊りや唄の歌詞、楽器などから大踊は室町時代末頃から江戸時代初期、小踊は江戸時代中頃からと古くから踊られていたと考えられています。このたびは、異なる踊りが同時に残されている貴重な例であることから、指定されることになりました。



▲大踊 第一番花の踊

新「当地グルメ」美福鍋、市内21店舗で販売開始

カラーゲンたっぷり美福鍋



▲美福鍋(民宿・浜福) 南あわじ新ご当地グルメ開発実行委員会が、淡路島3年とらふぐを使つた「美福鍋」

7か条の掟を設定。ふぐの身のほかに、淡路島産レタスやふぐ皮を具材に入れ、地酒を使った出し汁を使用などが決められています。民宿・浜福(福良)の坂本英樹さんは、「素材は地元産のものばかり。ご当地グルメとして、地元の皆さまにも知ってもらい、淡路島の良い食材を全国に発信できれば」と美福鍋への想いを語ります。

美福鍋のシメは、雑炊で食べても手延べ素麺と絡めて食べても美味しく、3月末頃まで各店で販売しています。(期間は店舗により異なる) ホームページ || <http://www.awaji-shokuni.com/> ※美福鍋を食べられる店を紹介

▲淡路瓦の箸置き。箸を使い終えたらお土産になります

▲7か条の掟をベースに、各店でオリジナルの料理を展開していると話す坂本さん。浜福では美福鍋のためにふぐの身皮からカラーゲンボールを開発したといいます

淡路人形浄瑠璃の「早替わり」芝居復活公演

人間国宝の二人が対談



▲「三味線で人物や情景を表現するのは難しい。後進に教えたいことがある」と話す鶴澤さん



▲「浄瑠璃は奥深く年齢に応じて深みが違ってきます。淡路の人形浄瑠璃を盛り上げていきたい」と話す竹本さん

淡路人形座による特別公演が1月8日、三原公民館で開催され、他では途絶えて淡路だけで行われていた、人形遣いが次々人形を持ち替えて操る「早替わり」を用いた演目を、約50年ぶりに復活させて披露しました。また、公演に先立ち、南あわじ市出身の二人の人間国宝、女流義太夫節三味線の鶴澤友路さん(福良)と、女流義太夫節浄瑠璃の竹本駒之助さん(神奈川県)の



▲「仮名手本忠臣蔵 五段目 二つ玉の段」を披露

対談が行われ、内弟子時代の努力や淡路人形浄瑠璃への思いを語りました。

うさちゃん広場オープン

淡路島牧場

淡路島牧場で昨年11月30日、うさちゃん広場がオープンしました。同牧場では、耳が垂れたうさぎホーランドロップや耳が立ったネザーランドワーフ約40羽が飼われています。広場では、約100㎡の芝生に20羽が放し飼いされており、飼育員がいれば触れることもできます。

同牧場の奥野善之部長は、「うさぎ年にあやかって広場をオープンしました。うさぎは飛躍する縁起のよい動物です。多くの人に気軽に見に来てほしい」と話していました。



▲うさちゃん広場は12月末まで。うさぎのかわいらしい姿が子どもや女性に人気です

善意での贈り物、続々と

児童養護施設「淡路学園」に1月10日～15日にかけて、ランドセルや毛糸の帽子、現金などが複数の人から寄贈されました。事前に何人小学校に入学するのかという電話があり、贈り物の送付主の中には漫画『タイガーマスク』の伊達直人と名乗る人もいました。

同学園の鎌田方碩施設長(広田)は、「社会の人たちが子どもたちに目を向け、温かく見守ってくれるのがうれしい。子どもたちのために大切に使います」と話していました。



▲贈り物の中には「みんな体を大切に風邪を引かないように気をつけて」と子どもたちを励ます手紙が同封されているものもありました

おめでとう

文部科学大臣表彰

徳井 理さん(潮美台)



▲受賞した徳井さん

瑞宝単光章を受章

◆高齢者叙勲 辻本 一二さん(灘)

淡路農林水産祭表彰

◆農林水産功労 (農業) 山田 幸男さん(志知) 中村 凱郎さん(八木)

廻角 正英さん(阿万) (林業)

小林 弘さん(広田) ◆兵庫県自治賞 (農業)

興津 勇さん(津井)

兵庫県知事表彰

◆援護事業功労(傷痍軍人会) 東 ときみさん(神代)

兵庫県表彰

◆このとり賞 永年、参画と協働による地域づくり、また花と緑あふれる美しい県土づくりの推進に貢献した個人・団体に贈られました。

◆このとり賞 坂東 公子さん(賀集) 高橋 武夫さん(榎列) 坂本可南子さん(湊)

上村 洋子さん(北阿万) 竹中 順子さん(阿那賀)

阿部 秋満さん(阿万)

◆くすのき賞 富子一座(賀集)

さくら会(福良)

◆みどりの章 菊川 豊さん(湊)

眞野 幸雄さん(八木)

安田 安義さん(榎列)